

町長の「しごと日記」

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【夏の夜空を花火が彩を添える・・・】



今年の夏は、これまで経験したことのないような高い気温が続き、福島町でも8月20日(木)には、30度を超える気温が記録されましたが、近頃では朝夕は肌寒くなり、秋の訪れを感じております。

8月13日(木)、福祉センターにおいて、二十歳を祝う会が開催されました。9人の方々の二十歳の門出をお祝いさせていただき、私から「人生はいま、この時を生きていく」という言葉を贈らせていただきました。今を生きるそのことが大切であり、一度しかない人生を大事に、自分の目標、希望、夢に向かって、己の道を信じて、これからの人生を全力で駆け抜けてくださいと添えました。

また、同日の夕方には、「第36回やるべ福島イカまつり」と「第33回海峡花火大会」が海峡横綱ビーチで開催され、お盆で帰省されている方々など多くの来場者でにぎわいました。福島中学校吹奏楽部の演奏に始まり、魚貝重さはかりゲームやトンビ応援団長の中野智樹さんの軽妙な進行による福島町観光大使の小橋亜樹さんのステージ、そして、猪俣優也さんの桑田佳祐ものまねショーなど、会場は大変な盛り上がりでした。

また、大抽選会では当選番号が発表されるたびに、大きなため息と歓喜の声が交差しておりました。

最後は、津軽海峡の夜空を鮮やかな色とりどりの花火が、約2,300発打ち上げられ、会場はもとより、自宅近くの海岸などで見ている方々の目をくぎ付けにし、夏の夜のひと時を楽しんでいただきました。

9月3日(木)、第二青函トンネル建設プロジェクト推進議員連盟との意見交換会が当町で行われました。当日は、議員連盟の津島淳幹事長(青森県選出の国会議員)、福原淳嗣事務局長代理(秋田県選出の国会議員)、中村裕之幹事長代行並びに向山淳事務局長(道内選出の国会議員)が青函トンネルの現場を視察し、その後、役場において、国土交通省および鉄道運輸機構の職員を交えて、第二青函トンネル構想の実現に向けた様々な意見交換が行われ、第二青函トンネル構想の実現に向けた着実な歩みを感じることができました。

引き続き、推進に向けた積極的な活動を展開してまいりますので、町民の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

9月5日(土)、福祉センターにおいて、第27回ふくしま健康フェスティバルが「健康寿命を伸ばすために～脳血管の病気を学ぶ～」をテーマに、開催されました。当イベントは以前も広報に書きましたが、私が職員時代に福祉課に配属され、小笠原先生からお話をいただき、従前のイベントだった「救急まつり」を改めて新たに開催したもので、思い入れの深いイベントです。当日は、早朝の健康ウォーキングに始まり、小・中・高校生の「けんこう標語」と、大人の「けんこうせん柳」の表彰が行われ、その後、函館新都市病院脳神経外科主任医師の嵯峨健広先生による「脳卒中は予防がすべて」をテーマにした講演があり、参加者は真剣に耳を傾けておりました。

また、最後には豪華健康グッズが当たる抽選会があり、当選の発表に一喜一憂しておりました。